

令和 7 (2025) 年 5 月 20 日
農 林 水 産 部 治 山 課

岡山市・玉野市林野火災跡地の調査結果について

1 調査内容

焼失区域	植栽等により森林に復旧するための区域を確認
溪流調査	溪流の荒廃状況や既設治山ダムの堆砂状況、土砂流出抑制機能の有無、人家までの距離等を確認し、新たな治山ダム設置の必要性を調査
落石調査	石群の位置や石の大きさ、山腹斜面の勾配、石群と人家との距離等から落石対策の必要性を調査

2 調査結果

(1) 焼失区域

急傾斜の山腹が広範囲にあり、植栽工のほか、航空実播工による緑化も必要である。

(2) 溪流調査

焼失区域にある 56 溪流を調査し、うち 1 溪流については、今後の豪雨等により下流人家等へ被害を与えるおそれがあり、緊急的に治山ダムの設置が必要と確認した。

残り 55 溪流については、既設治山ダムによる土砂流出抑制機能があることや、保全対象となる人家までの距離があることなどから緊急性は高くないと確認した。

(3) 落石調査

焼失区域内の 18 の石群を調査し、うち 1 箇所については、斜面勾配が急峻で人家との距離が近接していることから今後の落石対策が必要と確認した。

3 今後の取組

(1) 地元住民等への説明

今回の調査結果については、県と市が連携して地元住民や森林所有者へ説明を行い、復旧に向けた理解を得る。

(2) 森林復旧対策

植栽工や航空実播工による森林造成や落石防護柵等による落石対策等の復旧計画を作成し、復旧対策に計画的・継続的に取り組む。

(3) 緊急対策

緊急対策として治山ダムが必要な溪流において、災害関連緊急治山事業の今年度実施に向けて、国と協議を進めていく。